

再就職に向けて自分の強みを見よう！

出産や育児、介護等で離職された女性が再就職を目指すとき、なかなか自分自身のアピールポイントに気づきにくいものですが、外側から自分自身を見つめ直し、自分自身の強みを見つけるために「自分自身の強みを見つけよう」と題してセミナーを開催しました。

飯鉢仁弥さん(キャリアデベロップメント・アドバイザー、産業カウンセラー)を講師に迎え、しあわせの捉え方、心のあり方を整えるという考え方、自分らしさのを見つけ方などについてお話いただきました。誰もが持っている自分の弱さを、弱点から生じる逆の良い面を見つけるように考え方を考えるヒントをお話いただきました。良いも悪いも含めて、何かを足したり引いたりしなくてもこのままで良い自分を知ること、遠くの旗(夢)



を探するのは一旦やめて足元を見ることも必要で、目の前に何かあればとりあえずやってみて経験を積み立てていくことでチャンスはめぐってくると力強くおっしゃいました。

参加者からは、「話が分かりやすくてとても参考になりました。」「逆転の発想が楽しかった。」「時間が短くて残念でした。」等の感想をいただきました。



「女性に対する暴力をなくす運動」

平成27年11月12日(木)～11月25日(水)(11月25日は「女性に対する暴力撤廃国際日」)

暴力は、その対象の性別や加害者、被害者間柄を問わず、決して許されるものではありませんが、特に、配偶者からの暴力、性犯罪、ストーカー行為、買売春、人身取引、セクシュアル・ハラスメント等女性に対する暴力は、女性の人権を著しく侵害するものであり、男女共同参画社会を形成していく上で克服すべき課題です。

(内閣府 男女共同参画推進法部長決定より)

全国一斉「女性の人権ホットライン」強化週間

夫・パートナーからの暴力やセクシュアル・ハラスメントなど、女性をめぐる様々な人権問題について電話相談に応じます。

日	時	平成27年11月16日(月)～11月20日(金)
		午前8時30分～午後7時まで ※時間延長
		平成27年11月21日(土)・11月22日(日)
		午前10時～午後5時まで ※閉庁日に対応
相談電話番号		0570-070-810 (全国共通ナビダイヤル)
担当者		人権擁護委員、法務局職員
相談方法		電話相談のみ 無料 秘密厳守
問い合わせ		神戸地方法務局人権擁護課
		TEL 078-392-1821 (内線 345)



ホワイトリボンをご存知ですか？



ホワイトリボンキャンペーン(WRC)とは、女性に対する暴力をなくすために、男性が主体となって取り組む世界的な運動です。いまや、世界50か国以上に取り組みが広がっています。

女性に対する暴力(DV・性暴力など)を振るわない！許さない！沈黙しない！

ホワイトリボンは、女性への暴力を選ばない、私たち男性の意思です

男性のみなさん

多くの女性たちが暴力によって傷つけられています。その女性たちはあなたにとって大切な**母、娘、姉妹、友人、同僚**かもしれません。決して他人事ではありません。

日本における女性への暴力の実態

DV(ドメスティックバイオレンス)

- 女性の約3人に1人(約1800万人)は配偶者から被害を受けたことがあり、約10人に1人は何度も受けている。女性の約23人に1人(約230万人)はいのちの危険を感じたことがある。
- 女性の約10人に1人は交際相手からの暴力(デートDV)を受けたことがある。
- DVを目撃することは子どもにとって心理的な虐待であり(児童虐待防止法に記載、心身の発達に大きな影響を与える。

性暴力

- 女性の約8%は異性から無理矢理性交された経験がある(約400万人)。約4人に3人は加害者と面識があり、約7割に、心身に変調をきたす、夜眠れない、外出するのが怖くなったなど生活上の変化があった。
- 「男女間における暴力に関する調査報告書」
内閣府男女共同参画局 平成24年4月より

ホワイトリボンが勧める「いいおとこ度」チェックリスト

- 交際相手やパートナーへのあなたの態度は？**
- よく話し合い相手の話を最後まで聴いている
 - 自分がうまくいかないことを相手のせいになしない
 - 相手のNOを受け入れることができる
 - 相手と自分を対等だと思っている
 - 嫉妬を理由に相手の行動や人間関係を束縛しない
 - 相手の仕事、やりたいことを応援している
 - 相手を自分のモノだと思わない
 - 相手の友人、家族、人間関係を大切にしている
 - 自分のことを最優先にすべきだとは思わない
 - SEXは相手の気持ちを尊重し、避妊に協力する
 - 腹が立っても怒鳴ったり物を投げたりしない
 - だいじなことは相手と一緒に話し合っ決めて
 - お互いのちがいを認め、自分の考えを無理に押しつけたりしない
 - 家事や子育てをとともに担っている(その予定)
 - 固定的な女らしさや女性の役割を押しつけない

※これらの項目はDV被害の経験のある女性たちの声をもとに作成しました。

- 15 いいおとこです！
- 10～14 もう少しでいいおとこ
- 9以下 いいおとこになるために頑張りましょう

あなたの「いいおとこ度」は？

※「ホワイトリボンキャンペーン関西」発行のパンフレットより転載しました。

